



三菱UFJリース

2014年3月期第2四半期 決算概要

決算発表日：2013年11月6日

- お問い合わせ先
広報IR部
TEL 03-6865-3002 FAX 03-6895-5306
- 当社ホームページアドレス
<http://www.lf.mufg.jp/>（日本語）
<http://www.lf.mufg.jp/english/>（英語）

※本資料には現時点での将来予測数値が含まれますが、将来の様々な要因により変動することがありますので、ご注意ください

Value Integrator

目次

1. 2014年3月期第2四半期決算概要	3
2. 連結決算主要項目の推移	4
(1) 損益計算書 関連項目	4
(2) 貸借対照表 関連項目	6
3. 資金調達の状況	8
4. 貸倒関連費用等	9
5. 主要連結構成会社の決算概要	10
6. 営業状況(契約実行高)	12
取引種類別内訳、取引種類別構成比	12
国内外契約実行高の推移	12
リース契約実行高の増減推移	12
機種別(リース・割賦)、取引形態別(金融・その他)内訳	13
7. 営業の取組み	14
1) オペレーティングリース	14
2) 中古機器売買	14
3) e-Leasing Direct (資産管理サービス)	15
4) オートリース	15
5) 環境関連サービス	16
6) 不動産関連ファイナンス (不動産関連サービス)	17
7) シンフォニー (不動産関連サービス)	17
8) PFI事業	18
9) ファクタリング	18
8. 2014年3月期業績予想	19
9. 中期経営計画“ Vision 2013 ”	20

1. 2014年3月期第2四半期 決算概要

(金額単位:億円)

	2014/3期 第2四半期	前年同期比 (増減率)	2013/3期 第2四半期
売上高	3,557	+0.8%	3,528
売上総利益	631	-2.3%	646
営業利益	317	-4.3%	331
経常利益	353	-3.8%	367
純利益	208	-1.4%	211
契約実行高	7,393	+20.4%	6,139

(金額単位:億円)

	2014/3期 第2四半期	前期末比 (増減率)	2013/3期末
純資産	5,096	+8.9%	4,680
総資産	42,668	+2.1%	41,777

当第2四半期累計期間における日本経済は、輸出環境や消費マインドに改善の兆しが見られるようになりまし。その一方で、世界経済は新興国での景気減速懸念が広がるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループでは、環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、多様化・高度化するお客様ニーズにお応えする総合ファイナンスカンパニーとして持続的な成長を遂げるべく、中期経営計画「Vision2013」で掲げた各種戦略・施策を着実に実行に移してまいりました。

今年1月に全出資持分を取得したJSA International Holdings, L.P.の連結化による収益貢献があった一方で、前年同期に計上したプライベートエクイティ事業における売却益の反動要因もあり、当第2四半期累計期間における売上総利益は、前年同期比2.3%減少の631億円、営業利益は前年同期比4.3%減少の317億円、経常利益は前年同期比3.8%減少の353億円、純利益は前年同期比1.4%減少の208億円となりました。

契約実行高については、付加価値型商品サービスの提供を通じて、国内外の多様なニーズに積極的に対応した結果、前年同期比20.4%増加の7,393億円となりました。

純資産は純利益の積上げ等により前期末比8.9%増加の5,096億円、総資産は前期末比2.1%増加の42,668億円となりました。

2. 連結決算主要項目の推移

(1) 損益計算書 関連項目

(金額単位:百万円)

	10/3第2四半期	11/3第2四半期	12/3第2四半期	13/3第2四半期	14/3第2四半期
	09年4月～9月	10年4月～9月	11年4月～9月	12年4月～9月	13年4月～9月
1 売上高	372,573	365,481	361,248	352,889	355,762
	-12.5%	-1.9%	-1.2%	-2.3%	+0.8%
2 賃貸料収入	279,495	281,303	280,055	273,854	288,876
	-12.4%	+0.6%	-0.4%	-2.2%	+5.5%
3 割賦売上高	61,491	51,339	46,633	42,704	40,945
	-16.3%	-16.5%	-9.2%	-8.4%	-4.1%
4 営業貸付収入	19,386	18,665	17,682	17,278	17,373
	+3.5%	-3.7%	-5.3%	-2.3%	+0.5%
5 その他の売上高	12,201	14,172	16,876	19,052	8,566
	-14.1%	+16.2%	+19.1%	+12.9%	-55.0%
6 売上原価	319,024	305,813	302,900	288,195	292,579
	-14.0%	-4.1%	-1.0%	-4.9%	+1.5%
7 売上原価 / 売上高 (売上高売上原価率)	85.6%	83.7%	83.8%	81.7%	82.2%
	-1.6P	-1.9P	+0.1P	-2.1P	+0.5P
8 賃貸原価	242,847	240,267	239,893	233,437	237,987
	-13.6%	-1.1%	-0.2%	-2.7%	+1.9%
9 割賦原価	56,229	46,691	42,356	38,694	37,261
	-17.6%	-17.0%	-9.3%	-8.6%	-3.7%
10 資金原価	14,545	10,915	9,183	8,706	12,350
	-12.2%	-25.0%	-15.9%	-5.2%	+41.9%
11 その他の売上原価	5,401	7,939	11,466	7,357	4,979
	+5.3%	+47.0%	+44.4%	-35.8%	-32.3%
12 売上総利益	53,549	59,667	58,348	64,693	63,183
	-1.6%	+11.4%	-2.2%	+10.9%	-2.3%
13 売上総利益 / 売上高 (売上高売上総利益率)	14.4%	16.3%	16.2%	18.3%	17.8%
	+1.6P	+1.9P	-0.1P	+2.1P	-0.5P
14 従業員数	2,256	2,268	2,288	2,386	2,439
15 一人当たり売上総利益 (年換算…×2)	47.5	52.6	51.0	54.2	51.8
	+1.6%	+10.8%	-3.1%	+6.3%	-4.4%
16 販売費及び一般管理費	40,095	31,960	27,560	31,537	31,452
	+20.6%	-20.3%	-13.8%	+14.4%	-0.3%
17 人件費	10,582	10,996	11,332	11,596	13,055
	-1.1%	+3.9%	+3.1%	+2.3%	+12.6%
18 物件費	11,588	11,945	12,356	12,837	14,720
	-3.8%	+3.1%	+3.4%	+3.9%	+14.7%
19 貸倒関連費用 (一般貸倒引当金を含む)	17,925	9,019	3,871	7,103	3,676
	+70.8%	-49.7%	-57.1%	+83.5%	-48.2%
20 OHR	41.4%	38.4%	40.6%	37.8%	44.0%
	-0.4P	-3.0P	+2.1P	-2.8P	+6.2P
21 営業利益	13,453	27,707	30,787	33,156	31,730
	-36.5%	+105.9%	+11.1%	+7.7%	-4.3%
22 営業利益 / 売上高 (売上高営業利益率)	3.6%	7.6%	8.5%	9.4%	8.9%
	-1.4P	+4.0P	+0.9P	+0.9P	-0.5P
23 経常利益	14,200	28,626	33,332	36,720	35,336
	-33.2%	+101.6%	+16.4%	+10.2%	-3.8%
24 特別利益	7,934	925	60	234	83
	+756.5%	-88.3%	-93.4%	+284.3%	-64.2%
25 特別損失	1,484	3,799	305	382	4
	-73.5%	+155.9%	-92.0%	+25.0%	-98.9%
26 純利益	10,567	13,496	18,443	21,198	20,892
	+15.9%	+27.7%	+36.7%	+14.9%	-1.4%

※下段の%、P(ポイント)は前年同期比を掲載

1. その他の売上高について(5行目)

主に物件販売による収入、有価証券の収入、プライベートエクイティ投資事業収入、各種手数料収入などが含まれています。

2. その他の売上原価について(11行目)

物件販売における仕入コストや各種支払手数料などが含まれています。

3. 貸倒関連費用(19行目)

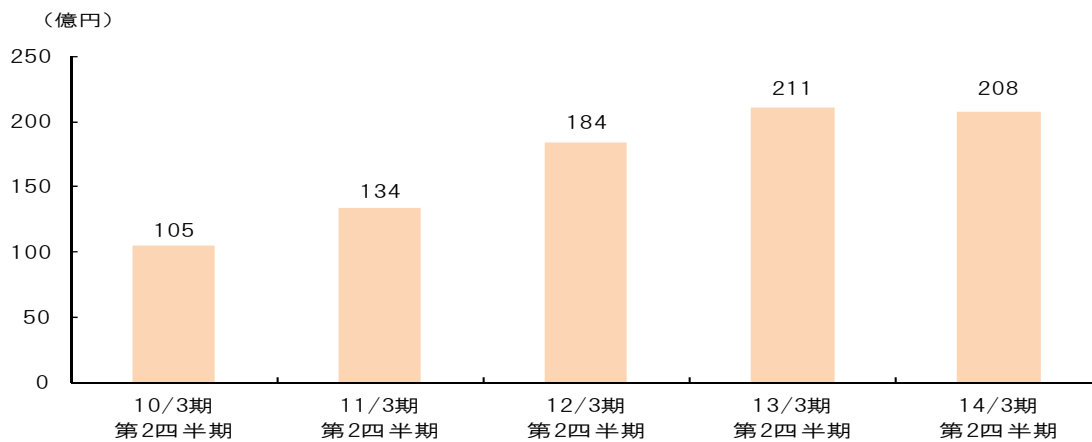
(金額単位:億円)

	個別引当金	一般引当金	合計
単体	52	-19	33
連結子会社等	6	-3	3
合計	58	-22	36

4. 特別利益(24行目)

投資有価証券売却益として約 83 百万円計上しています。

5. 純利益の推移(26行目)



6. グループ会社数

当期末時点における連結子会社数、持分法適用関連会社数は以下の通りです。

連結子会社数	持分法適用関連会社数
209	5

(2) 貸借対照表 関連項目

(金額単位:百万円)

	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期	14/3期第2四半期
	10/3末	11/3末	12/3末	13/3末	13/9末
1 純資産合計	366,891	389,802	420,864	468,061	509,615
	+7.1%	+6.2%	+8.0%	+11.2%	+8.9%
2 総資産額	3,885,161	3,721,136	3,682,299	4,177,784	4,266,867
	-0.6%	-4.2%	-1.0%	+13.5%	+2.1%
3 営業資産残高	3,517,982	3,393,547	3,335,620	3,713,972	3,848,556
	+0.6%	-3.5%	-1.7%	+11.3%	+3.6%
4 内貸貸事業	1,677,155	1,673,572	1,667,454	2,053,955	2,160,341
	+7.1%	-0.2%	-0.4%	+23.2%	+5.2%
5 内割賦販売事業	297,051	242,147	222,433	216,700	217,243
	-19.4%	-18.5%	-8.1%	-2.6%	+0.3%
6 内貸付事業	1,222,770	1,174,661	1,193,607	1,256,032	1,302,897
	-0.4%	-3.9%	+1.6%	+5.2%	+3.7%
7 内その他の事業	321,005	303,167	252,124	187,285	168,073
	-4.3%	-5.6%	-16.8%	-25.7%	-10.3%
8 破産更生債権等	46,351	40,921	49,451	46,066	41,780
	-3.4%	-11.7%	+20.8%	-6.8%	-9.3%
9 貸倒引当金	8,487	9,335	15,533	15,921	15,490
10 ネット破産更生債権等	37,863	31,586	33,918	30,145	26,290
	-14.5%	-16.6%	+7.4%	-11.1%	-12.8%
11 自己資本比率	9.1%	10.0%	10.9%	10.7%	11.4%
	+0.7P	+0.9P	+0.9P	-0.2P	+0.7P
12 ROE…株主資本純利益率	6.1%	7.1%	8.9%	8.5%	8.9%
	+3.8P	+1.0P	+1.8P	-0.4P	+0.4P
13 ROA…総資産純利益率	0.5%	0.7%	0.9%	0.9%	1.0%
	+0.3P	+0.2P	+0.2P	+0.1P	+0.1P
14 有利子負債	3,148,926	2,961,470	2,893,504	3,315,294	3,368,712
	-1.3%	-6.0%	-2.3%	+14.6%	+1.6%
15 間接調達	1,740,993	1,614,526	1,631,959	1,892,132	1,935,140
	-5.5%	-7.3%	+1.1%	+15.9%	+2.3%
16 直接調達	1,407,932	1,346,944	1,261,545	1,423,162	1,433,571
	+4.4%	-4.3%	-6.3%	+12.8%	+0.7%
17 内CP	872,400	866,000	719,300	806,200	799,600
	-2.3%	-0.7%	-16.9%	+12.1%	-0.8%
18 内リース債権流動化	152,256	101,944	104,215	139,644	135,936
	-6.6%	-33.0%	+2.2%	+34.0%	-2.7%
19 内社債	383,276	379,000	438,030	477,317	498,034
	+31.1%	-1.1%	+15.6%	+9.0%	+4.3%
20 直接調達比率	44.7%	45.5%	43.6%	42.9%	42.6%
	+2.4P	+0.8P	-1.9P	-0.7P	-0.3P

※下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

1. 内貸貸事業について(4行目)

流動資産の「リース債権およびリース投資資産」と有形固定資産及び無形固定資産の「貸貸資産」の合計を表示しています。

2. 内割賦販売事業(5行目)

割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しています。

3. 内貸付事業の内訳(6行目)

(金額単位:億円)

	営業貸付金			その他営業 貸付金 ^{※3}	合計
	一般貸付金	リースみなし 取引等 ^{※1}	子会社宛 貸付金 ^{※2}		
2010/3期末	9,725	1,643	96	763	12,227
2011/3期末	9,361	1,630	94	660	11,746
2012/3期末	9,541	1,586	116	692	11,936
2013/3期末	10,028	1,694	87	750	12,560
2014/3期 第2四半期末	10,061	1,953	248	765	13,028

※1:リースみなし取引とは、お客様との間ではリース契約取引ですが、会計上は貸付金として処理している取引です。

※2:主に非連結子会社向け貸付金です。

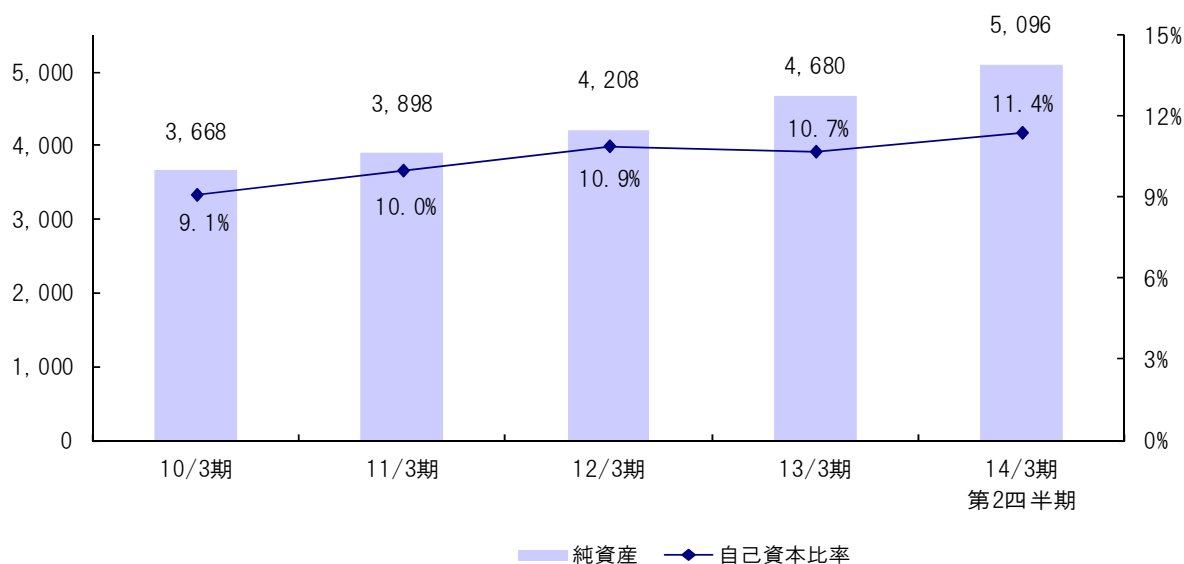
※3:主にファクタリング債権です。

4. 内その他の事業(7行目)

営業有価証券、営業出資金などが含まれています。

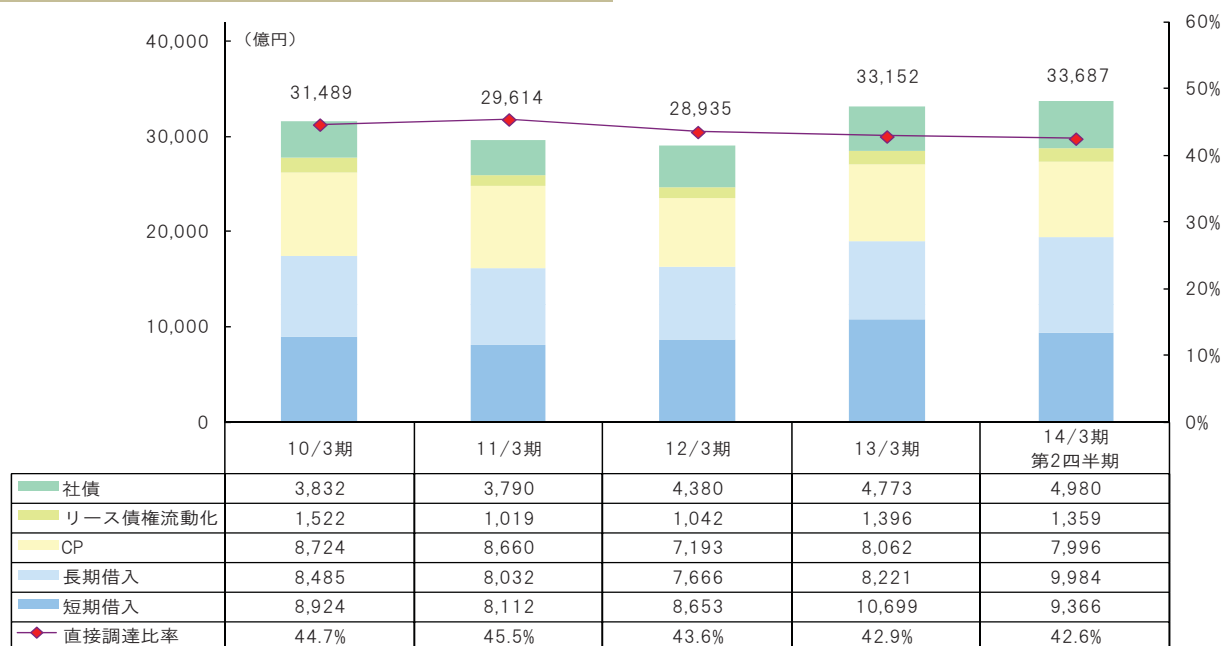
5. 純資産と自己資本比率の推移(1行、11行目)

(億円)



3. 資金調達状況

(1) 調達構造



有利子負債残高は3兆3,687億円となり、前期末比535億円増加いたしました。金利変動リスクに対しては、主に金利スワップによるヘッジオペレーションを行っています。当第2四半期末の金利スワップの想定元本(固定化スワップ)は2,076億円です。

(2) 社債の発行状況

① 国内普通社債の状況

2014年3月期に発行した国内普通社債

発行時期	金額	期間	利率	スプレッド	
				スワップ比	国債比
2013年6月	200億円	5年	0.498%	-7.3bp	+15.0bp
2013年8月	200億円	3年	0.278%	-8.3bp	+13.0bp

※「スワップ比」は、発行した社債の期間に対応するスワップレートと社債利率の差を表示。

② 最近の外貨建て社債発行状況

発行時期	金額	期間	利率	スプレッド
2013年2月	5億米ドル	5年	2.000%	米国債比+125bp
2013年3月	10億タイバーツ	3年	3.670%	タイ国債比+79bp
2013年10月	5億米ドル	3年	1.875%	米国債比+130bp

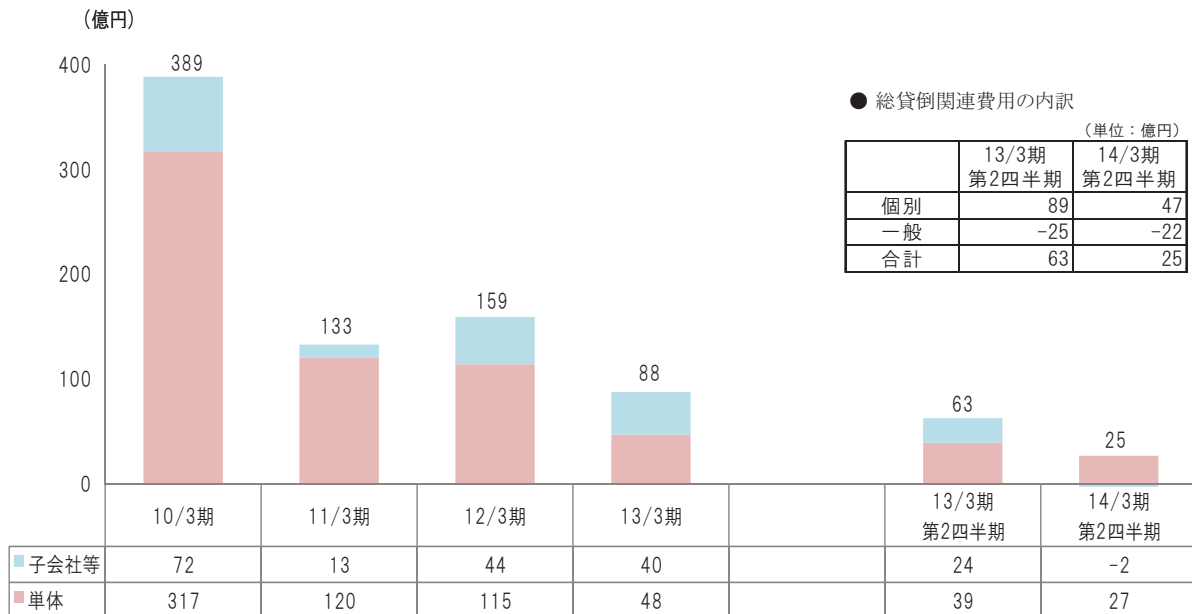
※タイ・バーツ建て社債の発行体は当社タイ現地法人。

(3) 外部格付について(2013年11月6日時点)

格付機関	長期	短期
JCR (日本格付研究所)	AA-	J-1+
R&I (格付投資情報センター)	A+	a-1
Moody's	A3	-
S&P	A	-

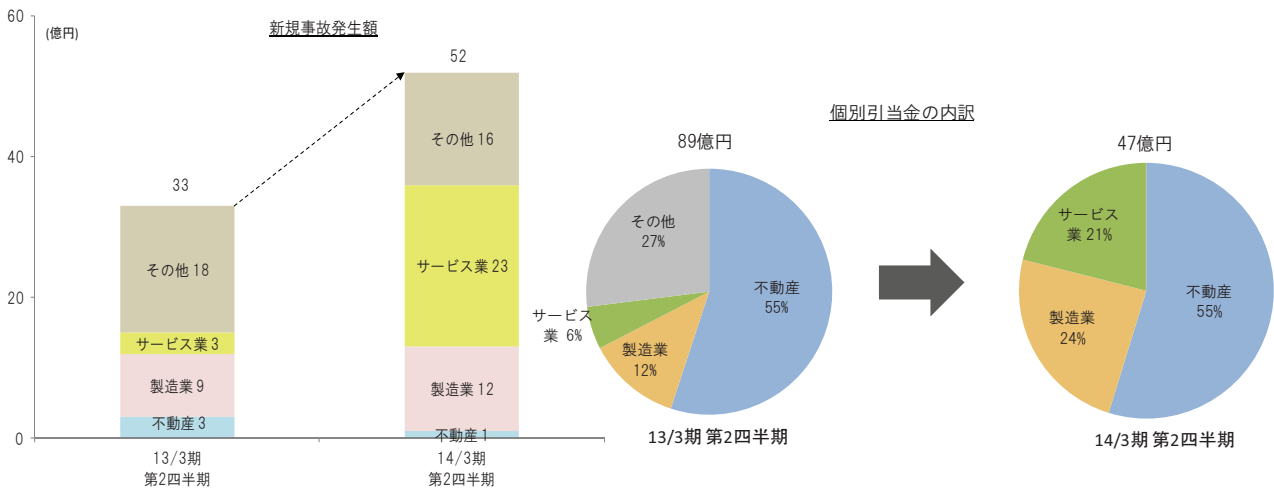
4. 貸倒関連費用等

(1) 総貸倒関連費用の推移

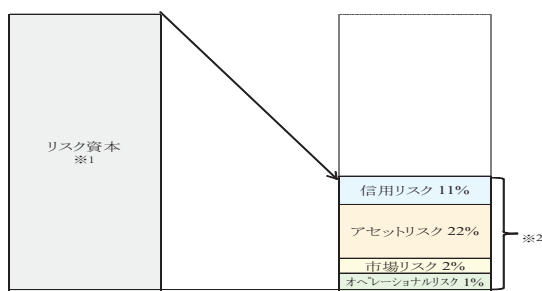


上記金額は総貸倒関連費用です。当該金額には、売上原価処理分、販売費および一般管理費計上分、営業外損益、特別損益計上分が含まれています。

(2) 新規事故発生額と総貸倒関連費用の前年同期比較(業種別)



(3) 統合リスク管理



様々なリスクを計量化することにより、統合的なリスク管理を行っています。左表は、2013年9月末時点の各種リスクについて、最大損失額をVaR(Value at Risk)等で算出したリスク量です。信用・市場・オペレーショナルなどのリスクに留まらず、アセットリスクまで算出するなど、厳格なリスクマネジメントを行っています。

※1 リスク資本: (株主資本+その他の包括利益累計額) - のれん
 ※2 リスク資本に対する各リスク量の比率

5. 主要連結構成会社の決算概要

金額単位：百万円

損益項目	三菱UFJリース(MUL) (単体)		日医リース(日医) MUL持分割合:100%		デイ・エフ・エル・リース(DFL) MUL持分割合:95%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	228,432	-2.4%	17,759	-0.8%	8,714	-0.2%
売上総利益	32,557	-9.3%	1,793	-5.0%	912	-11.8%
営業利益	13,564	-20.1%	856	-8.3%	601	-8.7%
経常利益	15,307	-20.7%	880	-18.3%	622	-8.5%
純利益	9,154	-19.0%	526	-18.3%	393	-6.8%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	2,738,882	+1.3%	93,029	+2.3%	45,895	+2.7%
総資産	3,186,950	+0.6%	96,390	+3.0%	47,390	+2.8%
純資産	383,633	+2.5%	12,064	+4.6%	9,396	+4.4%

金額単位：百万円

損益項目	神鋼リース(神鋼) MUL持分割合:80%		カシオリース(CL) MUL持分割合:80%		ひろぎんリース(HL) MUL持分割合:80%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	12,442	-6.7%	5,328	-16.5%	8,837	-5.6%
売上総利益	1,040	-18.8%	574	-19.8%	1,037	-9.6%
営業利益	315	-50.2%	205	-47.0%	670	-20.1%
経常利益	350	-46.8%	226	-45.6%	910	-1.5%
純利益	203	-47.0%	142	-43.6%	645	+17.8%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	108,351	+3.1%	28,389	+4.3%	54,343	+2.8%
総資産	112,523	+3.0%	29,271	+3.8%	57,189	+2.1%
純資産	6,994	+3.3%	11,229	+1.3%	9,676	+7.1%

金額単位:百万円

損益項目	首都圏リース(首都圏) MUL持分割合:76%		中京総合リース(中京) MUL持分割合:70%		MMCダイヤモンドファイナンス(MDF) MUL持分割合:50%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	12,932	+4.5%	3,462	-3.3%	10,443	+5.1%
売上総利益	1,736	-0.7%	365	-8.8%	4,744	+8.0%
営業利益	760	-19.9%	251	-16.2%	1,429	+21.0%
経常利益	961	-9.2%	280	-14.7%	1,695	+23.4%
純利益	584	-9.8%	173	-14.7%	1,055	+27.6%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	99,620	+1.1%	18,918	-3.1%	259,750	+1.3%
総資産	103,668	+1.8%	20,263	-2.4%	284,139	+1.6%
純資産	11,489	+4.2%	5,244	+3.4%	15,592	+7.3%

金額単位:百万円

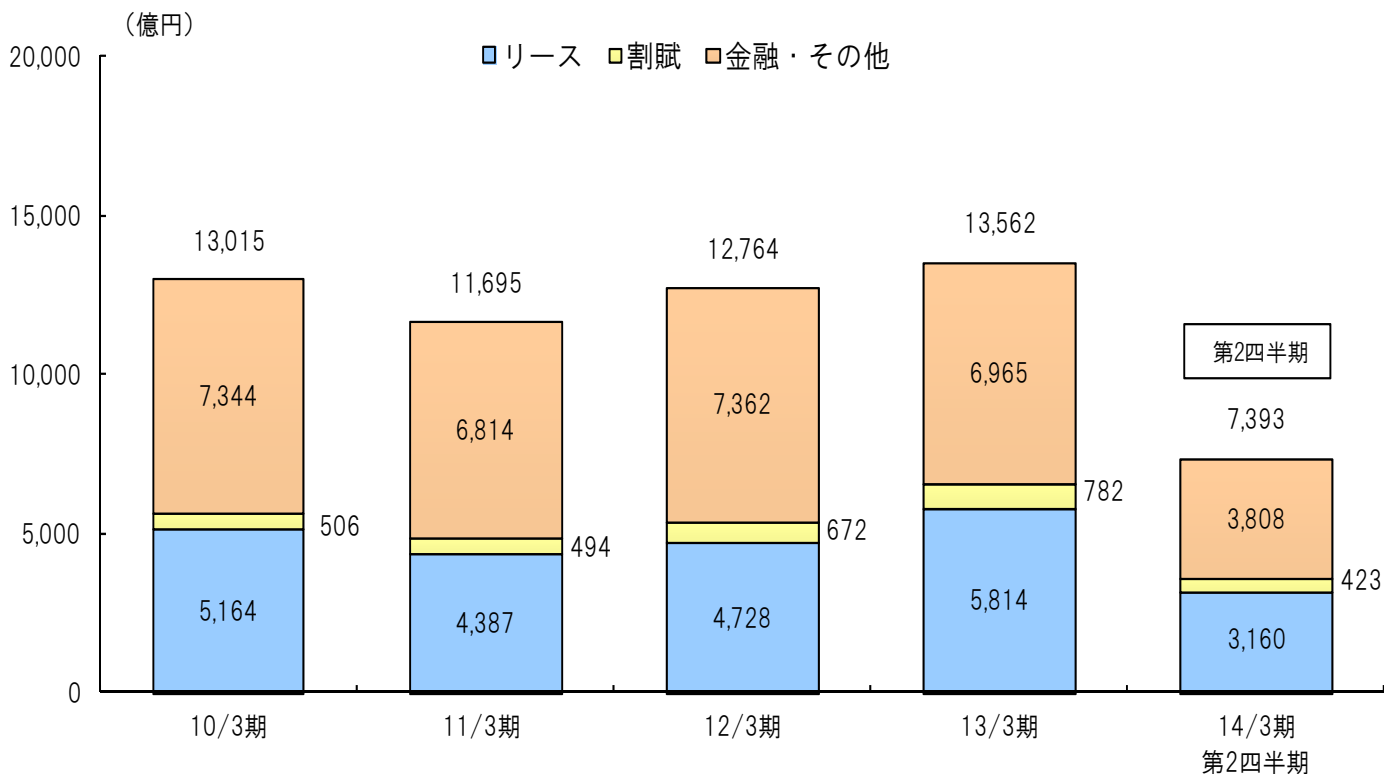
損益項目	ダイヤモンドレンタルシステム(DRS) MUL持分割合:100%		ダイヤモンドアセットファイナンス(DAF) MUL持分割合:100%		御幸ビルディング(御幸ビル) MUL持分割合:98%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	12,367	+2.6%	3,939	-46.6%	3,239	+2.6%
売上総利益	976	-21.7%	2,201	-5.2%	1,707	-3.0%
営業利益	184	-57.1%	1,526	+31.9%	1,456	-4.0%
経常利益	185	-56.7%	1,734	+36.9%	1,043	-16.4%
純利益	113	-56.7%	1,716	+36.4%	635	-13.4%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	60,230	+6.0%	186,704	+2.2%	59,538	-0.7%
総資産	62,453	+5.6%	190,554	+1.1%	63,273	+0.8%
純資産	4,625	+2.5%	20,651	+9.1%	20,945	+3.0%

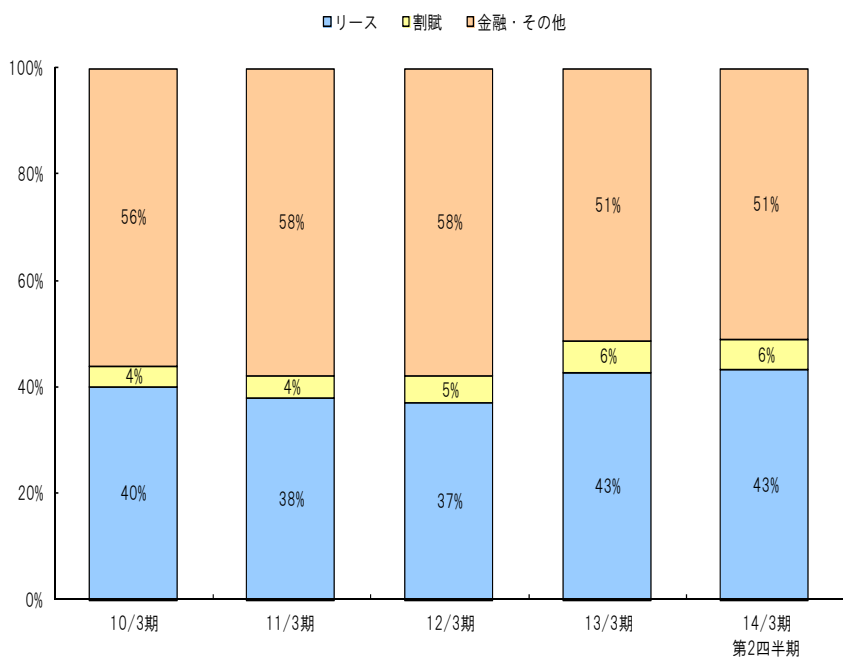
6. 営業状況(契約実行高)

2014年3月期第2四半期における契約実行高は、前年同期比20.4%増加の7,393億円となりました。取引種類別の内訳は、リース取引が前年同期比28.4%増加、割賦取引が前年同期比8.9%増加、金融・その他取引が前年同期比15.8%増加となりました。取引種類別構成比は、リース43%、割賦6%、金融・その他51%となっております。

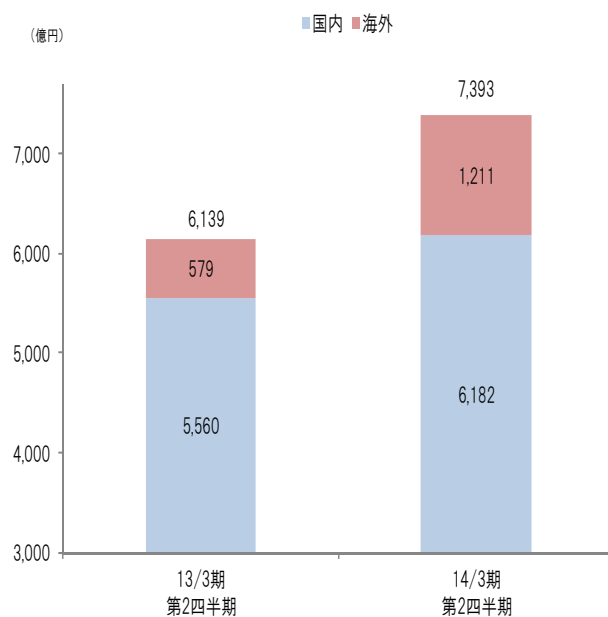
取引種類別契約実行高(元本ベース)の推移



取引種類別契約実行高の構成比



国内外契約実行高の推移



リース契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2013/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	前年同期比
情報関連・事務用機器	666	620	-6.8%
産業・工作機械	579	581	+0.5%
土木建設機械	139	209	+50.5%
輸送用機器	115	635	+450.5%
医療機器	228	282	+23.6%
商業用およびサービス機器	351	383	+9.1%
その他	380	446	+17.3%
合計	2,461	3,160	+28.4%

割賦契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2013/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	前年同期比
情報関連・事務用機器	14	25	+79.3%
産業・工作機械	36	48	+34.4%
土木建設機械	81	112	+38.3%
輸送用機器	19	16	-17.2%
医療機器	35	39	+11.3%
商業用およびサービス機器	111	99	-10.2%
その他	90	81	-10.6%
合計	389	423	+8.9%

金融・その他契約実行高

(単位:億円)

	2013/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	前年同期比
ファクタリング	1,237	964	-22.1%
不動産関連	656	723	+10.3%
その他融資等	1,396	2,121	+51.9%
合計	3,289	3,808	+15.8%

契約実行高 合計(リース、割賦、金融・その他)

(単位:億円)

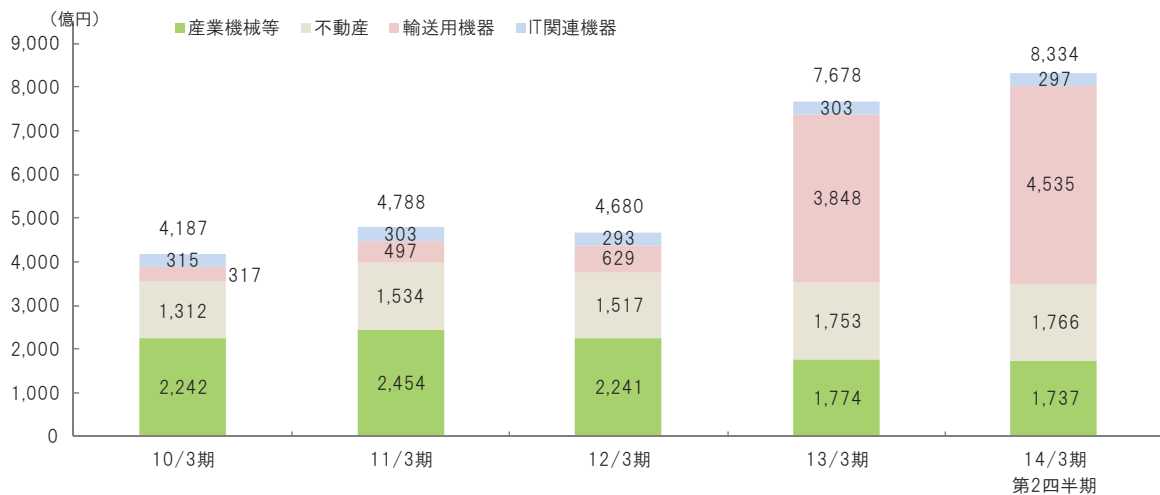
	2013/3期 第2四半期	2014/3期 第2四半期	前年同期比
合計	6,139	7,393	+20.4%

7. 営業の取組み

1) オペレーティングリース

物件価値に着目し、リース期間満了後の残価を設定しリース料を算定するオペレーティングリース取引では、産業工作機械や輸送機器、PCレンタル等、幅広い物件を取り扱っています。オペレーティングリースは、お客様のご希望に応じたリース期間の設定が可能のため、生産スケジュールに応じた機動的な設備導入が可能です。当社は業界で早くからオペレーティングリースを展開し、サービスの向上を図っております。


オペレーティングリース残高推移



2) 中古機器売買

リースビジネスで培った経験とノウハウを活用して、半導体製造設備や、工作機械、医療機器、情報関連機器など、多種多様な中古機器の売買事業を展開しています。タイムリーに設備を導入したい、安全な中古機器を導入したい、というお客様のニーズにお応えしています。

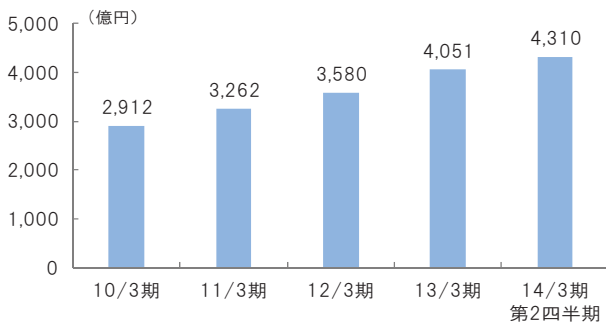
三菱UFJリースのグループネットワーク

<p>ユーマシン</p> 	<p>年間5千台以上の機器を取り扱う中古工作機械・産業機械の専門商社。2012年にはタイ現法を設立、国内外の5ヶ所に専用倉庫を構え、きめ細かなサービスを提供しております。</p>	<p>エム・キャスト</p> 	<p>中古医療機器の販売・買取を行う業界トップクラスの専門商社。業界で初めてISO 9001を取得するなど、徹底した品質管理を行い、安全性の高い中古医療機器を提供しています。</p>
<p>MUL エコビジネス</p> 	<p>リースアップしたPCやOA機器など年間約32万台を仕入れ、データ消去などの情報漏洩対策を施した上で、リユース・リサイクルを行っています。</p>	<p>ダイヤモンド イクイップメント</p> 	<p>中古半導体製造装置の販売と買取を行う専門商社。ワールドワイドのネットワークで、国内外のお客様に装置の売買情報を提供しています。</p>
		<p>グローバル・アセット・ソリューション</p> 	<p>工場の不要となったライン一式などの大規模設備や、用途に応じてカスタマイズされた機器などを対象とした仕入・販売をグローバルに手がけています。</p>

3) e-Leasing Direct (資産管理サービス)

当社独自の資産管理サービス「**e-Leasing Direct**」では、契約から満了までの一連の手続きをWeb上で行うことができ、リース会計基準に対応した会計関連情報を迅速かつ無償でお客様にご提供いたします。お客様が使用されている資産データと、リース契約情報を紐付けることができますので、資産管理やコスト把握にもご活用頂けます。さらに、お客様が社内で行うリース契約手続きにおいて、**e-Leasing Direct**が持つ電子承認機能をご活用頂くことで、内部統制管理の強化にもお役立て頂けます。また2012年には、お客様が使用する全ての資産を一元管理できる資産管理ツール「**e-Leasing Direct Platinum**」のサービスを開始しました。資産の使用期間(アセットライフ)における、修理や費用などの情報を統合することで、資産の有効活用にお役立て頂くことが可能です。

e-Leasing Direct の残高推移



✓多言語に対応
✓主要通貨での登録も可能に

導入事例



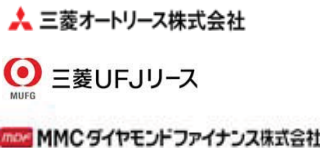
e-Leasing Direct Platinum のコンセプト



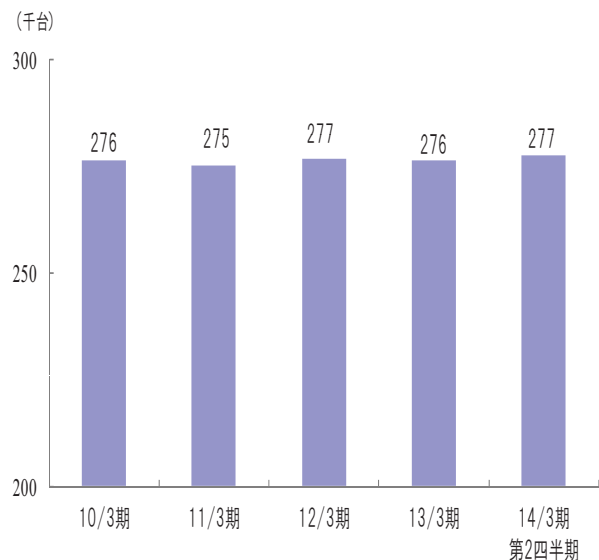
4) オートリース

オートリース事業を行う三菱オートリース(三菱UFJリース50%、三菱商事50%出資)、オートクレジット事業を行うMMCダイヤモンドファイナンス(三菱UFJリース50%、三菱自動車工業47%出資)をグループ会社に擁し、オートファイナンス分野において一層のサービス向上・強化を図っています。2013年9月末時点のグループ全体の車両管理台数は約277千台となっています。

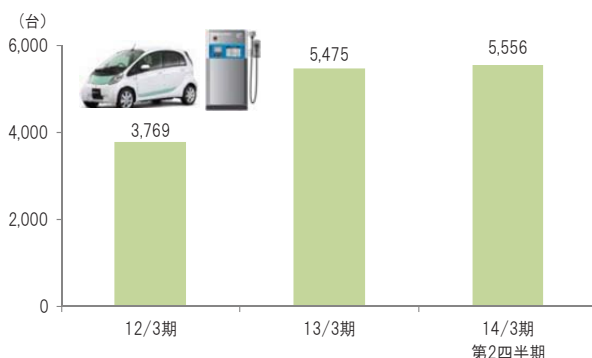
オートファイナンス・サービスネットワーク



車両管理台数の推移



電気自動車の管理台数の推移

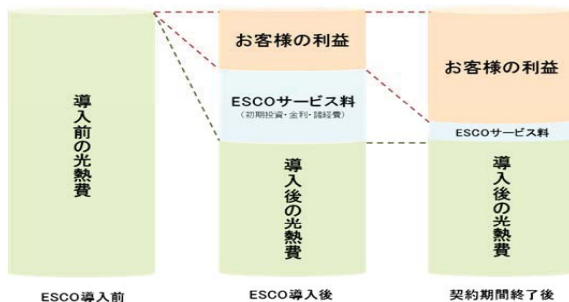


5) 環境関連サービス

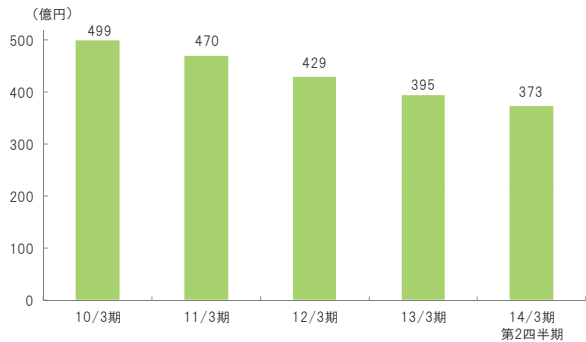
① ESCO (Energy Service Company) 事業

ビルや工場、ホテル、病院などの施設に対して、省エネルギー化のプランニング、改修工事、ファイナンス提供、エネルギー削減の効果保証などパッケージでサポートするESCO事業において、当社は豊富な実績とノウハウにより、お客様に合ったサービスを提供しています。これまでの取扱件数は累計で425件と、全てのESCO事業者の中でもトップクラスの実績となっています。

ESCOの導入メリット(イメージ)



ESCOの残高推移



【TOPICS】

自治体向け防犯灯のLED化ESCO事業の取組み

三菱UFJリースは、ESCO事業を活用して、自治体が行う白熱灯や蛍光灯からLED照明への転換による電力料金、メンテナンス費用およびCO₂の削減をサポートしています。



新潟県妙高市で導入されたLED防犯灯

② 排出権関連サービス

地球温暖化問題へのソリューションとして、リースする物件に排出権を割当て、リース物件から生ずるCO₂を相殺する「カーボンナチュラルリース」や、お客様に代わって、排出権の購入から償却に至るまでの手続きを受託する「オフセットパートナーサービス」など排出権関連サービスをご提供しております。

また、省エネ設備の導入によるCO₂排出削減分から排出権を創出するサービスを行うなど、排出権に関する幅広いサービスをご提供しております。

導入事例



フォークリフト



スポーツイベント



商品カタログ

③ 環境ファイナンス

廃棄物処理施設や風力・太陽光等の発電設備の建設に際して、事業の収益性や安定性に重点をおいた「事業性担保融資」などを活用し、従来の融資手法では実現の難しかった投資や、中～大規模のプロジェクトファイナンス案件まで幅広いニーズに対応しております。

特に、太陽光発電を中心とする再生可能エネルギー分野については、単なるファイナンス機能の提供に留まらず、自ら事業者として発電事業に携わる取組みにも積極的に参画しております。

【TOPICS】

「官民連携ファンドが出資するメガソーラー事業に対するプロジェクトファイナンス」を組成

三菱UFJリースは、官民連携インフラファンドが出資する太陽光発電事業に対し、プロジェクトファイナンスを組成いたしました。本プロジェクトにおいて当社は、秋田県と佐賀県でそれぞれ実施する太陽光発電事業に対して約16年にわたるファイナンスを行います。

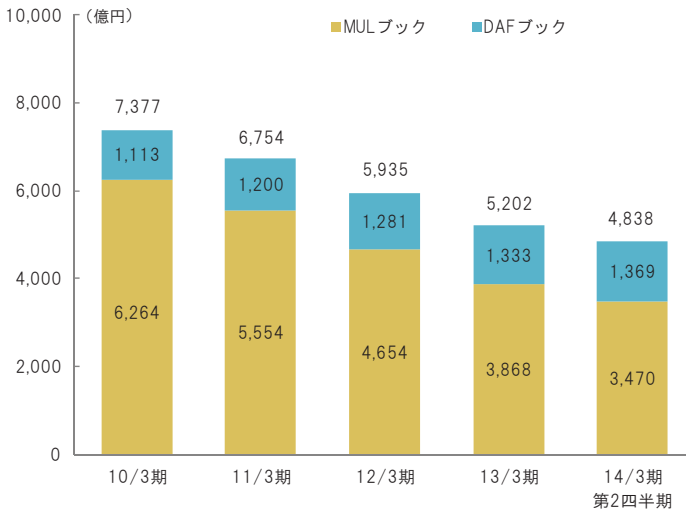


太陽光発電施設
(佐賀県三養基郡)

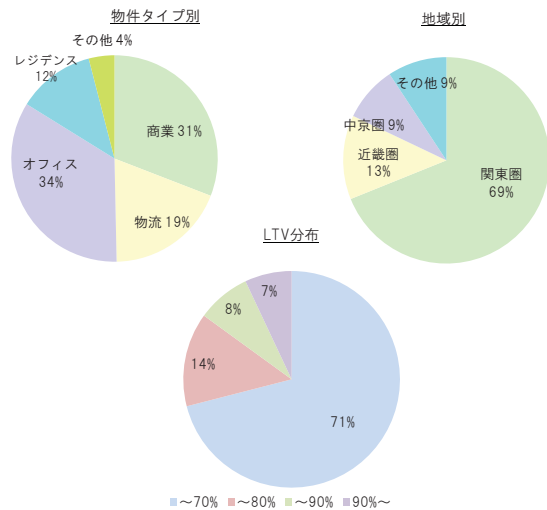
6)不動産関連ファイナンス(不動産関連サービス)

主に商業用、物流用、オフィス用を対象とした不動産関連ファイナンスでは、対象不動産からの収益力を評価して実行するノンリコースローンを中心に様々な案件を取組んでいます。不動産のノンリコースローンでは、厳格なリスク管理の下、主として信用力の高い大手不動産会社等が組成する案件を選別して取組んでいます。また、グループ会社のダイヤモンドアセットファイナンス(DAF)では、プロジェクトファイナンスやオーナーローンを取り扱うなど不動産関連におけるお客様の様々なニーズにお応えしています。

不動産関連ファイナンスの残高推移



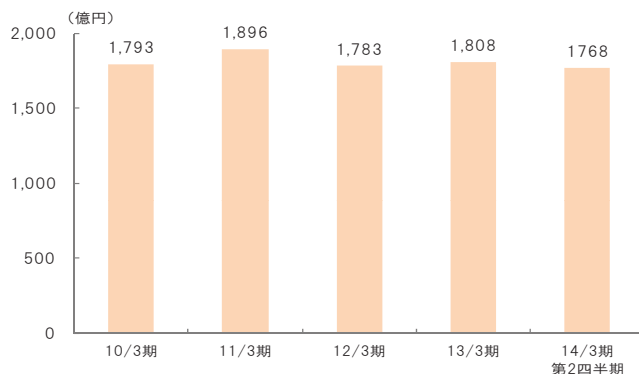
MULブック案件内訳とLTV分布(2013年9月末時点)



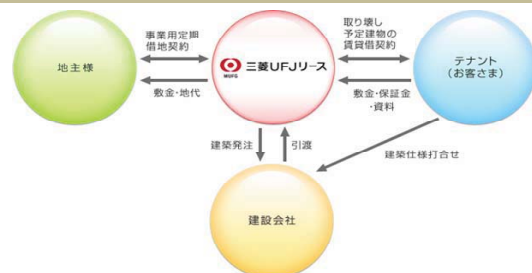
7)シンフォニー(不動産関連サービス)

事業用定期借地権を利用した建物賃貸借取引「シンフォニー」において、当社は大規模なショッピングモールや物流施設、ショールーム、飲食チェーン店など様々な建物を取組んでおります。テナント、デベロッパーの皆様にとっては、少額の初期投資でご希望の建物を機動的に展開でき、また、地主様にとっては土地の有効活用を図ることができます。

シンフォニーの残高推移



シンフォニーのスキーム



主なメリット

- ・初期投資が軽減
- ・コスト把握が容易
- ・建物の所有に伴う管理事務の簡素化
- ・キャッシュフロー負担の軽減
- ・複数の土地オーナーとの交渉が容易

導入事例



【TOPICS】

松江市乃白複合案件(島根県松江市)

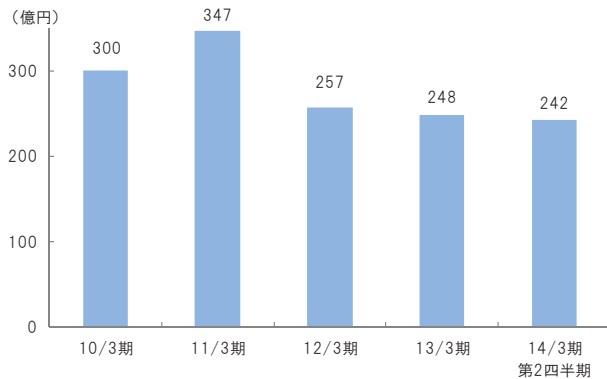
松江市内大型区画整理地で開発の複合商業施設。ドラッグストアやスポーツ用品店、飲食店が入居。



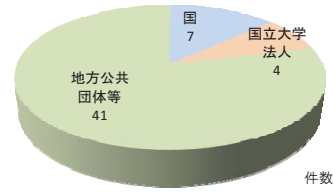
8) PFI事業

民間の資金・経営ノウハウを活用し、効率的・効果的な社会資本整備・公共サービスを実現するPFIにおいて、当社は単なるファイナンス機能の提供に留まらず、代表企業としてプロジェクト全体のマネジメントや出資を伴う事業参加も積極的に行っています。これまで当社は、累計で52件を受注し、うち15件は代表企業として取組んでおり、すべてのPFI事業者の中でもトップクラスの実績を誇っています。

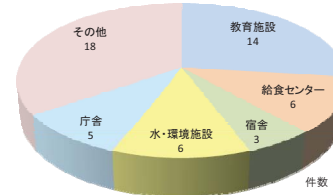
PFI事業における営業資産残高の推移



発注者別PFI事業内訳



施設種類PFI事業内訳



【TOPICS】

「静止地球環境観測衛星の運用等事業(気象庁)」

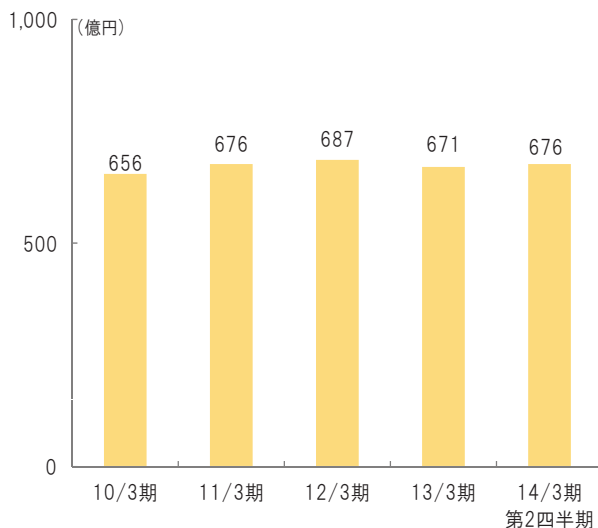
2015年からの運用を予定している静止地球環境観測衛星「ひまわり8号/9号」の衛星管理施設および観測データの受信などに係るシステム整備について、当社が代表企業としてPFI事業を実施いたします。



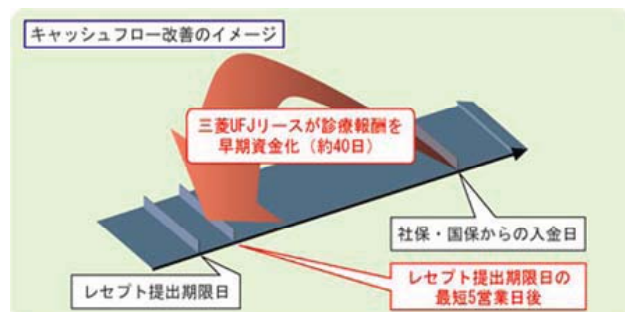
9) ファクタリング

小口大量債権の処理にも適応した専用システムを駆使して、主に売掛債権、診療報酬債権を対象に、お客様の資金ニーズに対応しています。お客様は債権を当社に譲渡することで、早期に資金化が可能となりキャッシュフローの改善を図ることができます。また、ファクタリングを活用して資産のスリム化に繋げるなど、財務戦略にも広くご利用いただいております。

ファクタリング(期中平均)残高の推移



診療報酬ファクタリングのイメージ



主なメリット

- ・早期資金化
- ・調達手段の多様化
- ・財務内容の改善(バランスシートのスリム化)

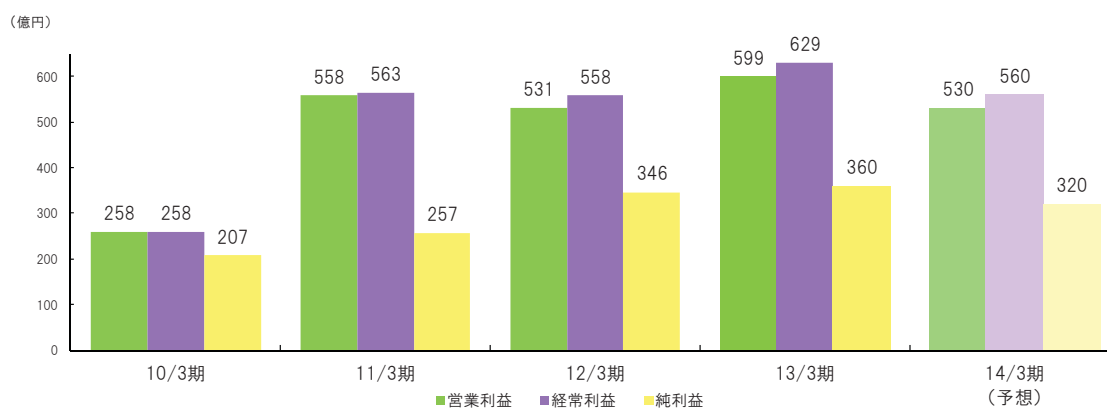
8. 2014年3月期業績予想

2014年3月期決算(予想)

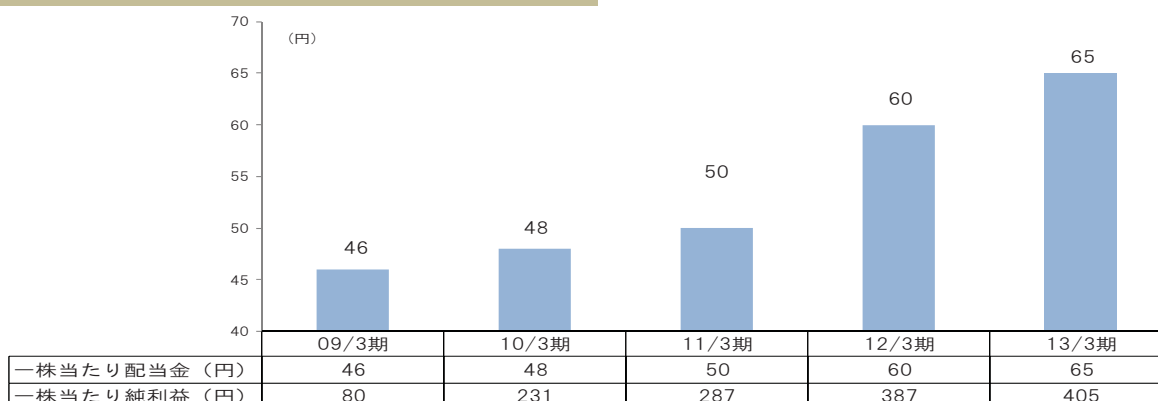
	連結	
	金額(億円)	前期比
売上高	7,100	+1.7%
売上総利益	1,200	+1.7%
営業利益	530	-11.6%
経常利益	560	-11.1%
純利益	320	-11.2%
一株当たり配当金	6円70銭	+20銭

上記数値は2013年11月6日時点での2014年3月期業績予想です。
 なお、2013年4月1日を効力発生日として普通株式1株を10株に分割しており、上記の一株当たり配当金
 予想につきましては、株式分割後の金額となっております。

連結業績の推移



配当推移



9. 中期経営計画 “ Vision 2013 ”

1. 中期経営計画 “ Vision2013 ”

成長戦略	経営基盤強化戦略
<ol style="list-style-type: none"> バリューチェーン上の提供機能の拡大と多様なアセットリスク・事業リスクテイクによるMULならではのサービス拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・コア事業（リース） ・省エネ・環境事業 ・国際事業 ・グローバルアセット ・仕入・販売、査定 ・資産管理 ・医療・介護 グローバルベースでの事業展開の加速 顧客接点の強化 外部成長戦略の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営管理の高度化 2. 営業力の強化、手法の高度化 3. 効率化の追求 4. IT戦略の強化 5. 新たな企業風土の醸成 6. 人材マネジメントの改革 7. 信頼の確立



2. 中期経営計画の進展

1) 環境分野の事業拡大

省エネルギー化や太陽光・風力を利用した発電事業の実現に向けて、コンサルティング、プランニング、設備の選定、導入、運用にいたるまであらゆるニーズに、リース・ファイナンスのみならず事業参画や専門性を発揮した機能提供により幅広くお応えしています。

省エネルギー分野

創エネルギー分野

リース・ファイナンス



LED防犯灯の整備



高効率空調設備の導入



太陽光パネルの設置



再生可能エネルギー発電設備の建設

事業パートナーの選定

コンサルティング



大型施設を対象としたESCO事業



太陽光発電事業の運営

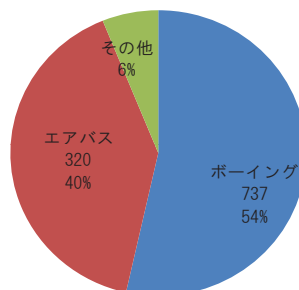


事業参画

2) グローバルアセットの取り組み強化

航空機

日本、アメリカ、ヨーロッパの3極に営業拠点を構え、グローバルベースで航空機リース事業を展開。市場性・汎用性の高いナローボディを中心に100機以上の航空機を保有、世界中のエアラインにリースしています。



保有航空機 機体種類別内訳
2013年9月末時点

航空機以外の主なグローバルアセット

航空機エンジン



車両

コンテナ



船舶

3) 海外事業展開の加速

市場が拡大するアジア諸国を中心に積極的に事業を展開。リース、ファイナンスに留まらない、経営資源調達に関する様々なソリューションをご提供しています。

◆ 調達の多様化

米ドル、人民元、タイバーツなど現地通貨建て社債を発行。

◆ 環境関連ビジネスの海外展開

日本国内で豊富な実績を有する省エネルギー、再生可能エネルギーに関するビジネスをグローバルで展開。

◆ 海外で中古売買ビジネスを開始

新興国など需要が旺盛な地域で、良質な中古機械を提供。



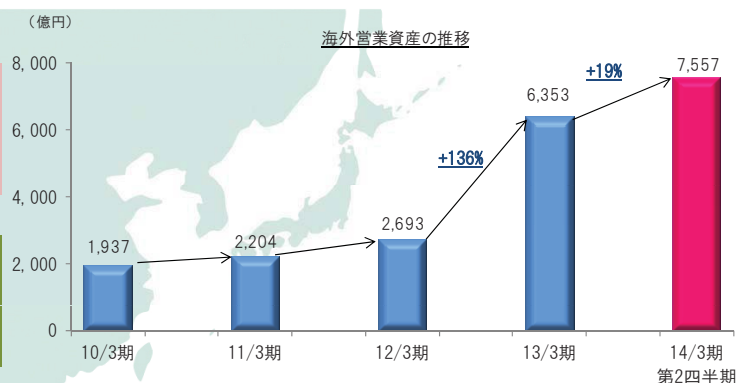
タイ バンコク郊外にある中古機械専用ヤード
(グループ会社のユーマシン)

◆ 建機リース・ファイナンスを拡大

メーカー・代理店と連携し、現地企業の建機の導入をサポート。



インドネシア 鉱山開発で利用されている大型建機





Value Integrator